

問 放課後児童クラブ事業について、現状の利用状況は、また目的から見た課題や今後の方向性は

答 利用状況は5クラブ登録者97名います。18年度申し込み状況は、現在118名です。指導員配置については、多い所で3〜4人、他の所で2人の配置を心掛けています。現状の課題は、利用の増加傾向と指導員確保が難しく、安定した職員確保に努める。今後の方向性は、クラブの趣旨の徹底を図る事と、研修会の開催などに努めます。

問 クラブの組織づくりは

答 組織づくりについては2点考えられます。一つは指導員の方々から運営方法や、指導の仕方等相談にこたえられる指導員配置等を考えるための組織や、二つは保護者会等の組織化により、みんなで支え合う機運を盛り上げたいと思います。

問 通学路防犯灯設置事業について、事業の考え方と今後の進め方は

答 設置事業の今後の進め方については、市民の安心・安全確保のため、菊川警察署にお願いし設置すべき箇所を本年10月までに報告を頂き、その報告に基づいて整備を進めます。

揚張 正 議員

問 環境衛生委託料として100万円計上し、ゴミパトロール事業を実施する計画は

答 マナーやモラルの悪化に伴い、市内各所におけるゴミの不法投棄や家電製品の大量投棄が多く、現状の職員体制では困難を生じております。増加傾向にある不法投棄の防止を図るために、シルバー人材センターへ委託して、週2回、市内各所の巡回パトロールを実施し監視活動の強化を図ります。

問 防犯専門監として警察官OB2名を雇用し防犯パトロー

ルする事業については

答 市民の安全・安心を守るため警察官OB2名を任用し、市内の公立4、私立1保育園、7幼稚園、5小学校と浜岡・御前崎中学校の巡回パトロールを実施します。金曜日は市内の青少年が集まりそうなゲームセンター等を中心にパトロールを実施し青少年への指導を行います。万が一の対応のため、市内の幼・保育園、小中学校の職員を対象とした防犯技術の講習会も計画し、実施をしたいと考えています。この任用が真に市民の皆様役に役立つよう状況を見ながら工夫をしていきます。

阿南澄男 議員

問 旧御前崎町では、平成5年、6年の2カ年で下水道事業の検討を行い、合併浄化槽による下水処理を選択し、今日に至っているが、現在どの程度設置されているか

答 平成17年度末までに個人設置361基で、全世帯の13%で

す。なお、工場・事業所や観光施設などはこの制度の対象外です。

問 従来の合併浄化槽による処理方法から下水道による処理方法に変更して下水道事業の推進を図る理由は

答 合併処理浄化槽の普及には長期間が予想され生活環境改善に効果的ではなく、漁業や観光などの産業面からも水質保全は欠くことができなく、推進するものです。

問 今回の全体計画の策定に当たり、予想される総事業費整備期間・処理方法・補助対象事業等の基本的な試算と考えは

答 一部を除き集合処理が適当で、全域を一処理区、一処理場として概算事業費は補助単独を合わせて100億円を超えます。整備手法は特定環境保全公共下水道事業で、現在の事業認可期間の平成21年度までに変更認可を受け、事業着手を考えています。